

⑥

西村
正月の餅代のかほりか

要承の声なり

⑦

建物はその造りなけりば、
検査方と簡易裁判計と、
福主地主署の官邸

橋本土地は商店街で、
二方から

役所の誘導するに上るを得る。

町長
場所の良もあり
概ね所を天定
—こゝろにた

no. 4

用長
檢察
方口
三
坪
位
子

所長
入王にあるか立川
誘導の話もある

郷長
榎桑小方支部なるべしと思ふ。書類は出来てゐるが、土地と何處にするか、と

西村
商店街との肉連
々多々思ふ

村に
福王と牛浜駅の中間より所長である

町長、議長時代に事があつたので、当然、實現すべきだ。

田福
冊長に一任したうか

8

異議ありのき多数

用福 農林牧と誘置することも出来るのでどうにか

町長 青梅でも痛しがりらしい

田福 青梅では地所(グラウンド)の問題があるので福生と誘置する様努力願いたい

町長 私の知る範囲ではどうもしたことはない。青梅でも農林科、又は林業、商業科と送り下ろす

町長 又に警察に貸与した自動車と警察で買った話があり、今十万円で設楽へ

修理に行つてゐる警察では大抵工が割当てるらしい

二三日前十万円が自動車と売りに来たが役場のものになるかどうか疑問だ

村長 是非必要と云う程ではないと思ふが

井梅 町のもにするには十方の修理費を要せねばならぬのか

設楽

森幸 警察の車と取かへるかどうか

用福 警察委員会にけんとうして貰うかどうか

10.5

10

費井 町民に自動車はやらぬと云つたのでその点明分と明らかになり

森幸 簡単には呉れろと云ふことは出来ない

議長 町では警察委員会にけんとうして附託する

町長 次に地区署長より、地区署の拡張する土地の農協の所有する貸与のあつせんを願う

陳情書の来りてゐるが

町長 陳情書 朗読

議長 議会にも同様なものがある

森幸 未だ平屋ではある、二階三階と建てればよい、農協としては賛成できない

町長 議長 副議長 警察委員会に附託して下ろす

町長 会議室、小使室、当置所の改築、てゐる、裏が今空地がある

西村 委員会附託か

費井 問題が大きいが警察委員会に附託するのか

西村 けんとうする、又、決定は調査して貰うか

町長 署長としては現在地に長居の気持はしない、進駐軍のとうか人員はいろいろ

そのついでよりからきてゐる状態である。

田嶋 よう実情と調査してゐた。

議長 それでは警務委員会に調査と委託する。

町長 都道四号線の補装は二十六年までは不可能なもので二十七年に早々実施するよ。

陳情と出た牛渡橋は早急に実施するらう。

四号線の飛行場東と解釈する存陳情。

異議ない。

町長 清畠院前の梅林と遊園地としてゐたのであの梅林の梅を学校で買って

もう一回譲り、村野議員より説明。

村嶋 町で園地を見てゐたので梅木の買上げ、もう一回譲りという話があり、村嶋

者井と名次郎、ひとの話で一五、六万円位かどうかと話がある。

井嶋 学校へ植えるものを買取する場所を考へるべきだ。

井嶋 学校では買取ると生徒の昇るものでよく、村野議員には村嶋の方法はどうか。

西村 他はせん、頂かふと思ふ。

no. 6.

議長 遊園地なら全部取するもよいか。

田嶋 無料で買取すべきか。

井嶋 村野議員に案があるのでは、議員は解決するよ。

町長 昨午、学校の植栽、一時も梅はやうなかつた。

高三 部落で考へてゐた。

倉井 中福まで遊園地とするなら中福まで買上げ、二處置してゐたうよ、と思う学校に

植えるには賛成出来ず。

議長 それでは中福まで今少し考へてゐた。

町長 暮の二十五日に上かう強い希望で一月、ヤス、ニナ、ヨリ、三田、検診、一、二、三、町で一回、町

に、一、二、三、指さしては困ると医師の意見がある。厚生省の指示する順序で都を相談。

町長 現在、五、三、名、延、一、三、名、町で二時的にやゝゐる現在、手教科は、八、月、拾、七

二、の、八、九、万、円、位、余、金、に、よ、る。

町長 結果と報告。

中野 その結果はどうなるか。

町長 結果と記入したカードを本人渡して注意してゐるか、軍といふは吉原病院に入れるよう云はれてゐる。

西村 他に病院があるか、進駐軍への報告はするか。

町長 都で強制に検診した者は吉原病院へ入れるか、進駐軍へは報告する。

中野 彼で連年の令に制限されるか。

町長 児童福祉法の適用がある。

瀬古 四重屋と町長の間の問題があったか。

町長 自衛隊が町の局と云うような考があつたので間違つた考である旨を伝へた。

森幸 置屋と税と関係は。

町長 営業税は認められず、であるが所得税はよ、と思う。

町長 都市計画委員会が本町と町内より、福生病院に行く道路は直直かと思ふかと意見があつた。

町長 直直すると、森田大助氏より大井組の計と通ふと思う。

町長 図を添へて説明。
この設計と云ふものと云はれ、曲つてゐる設計、それは直直である。

町長 直直とすると、二、三、家屋の移動とすることになる。

町長 終始は同一か。

町長 同一である。

町長 橋本 病院にぶつかるか。

町長 病院の西側が多少ある。それと多少耐えめけるようになる。

町長 議長 直直と云ふことでね。

町長 船本 多少困難はあるが直直にするのが望ましい。

町長 町長 直直と云ふことについて見直しをやる。

町長 町長 池田、小川町の町橋の改修負担金の請求について。

町長 石川、町橋のまゝ側に三分で東秋で木橋をかけ、小川の土手の所に土盛をして自動車が通れるようになる。過去の東秋での進駐軍委員長が来て福生町でも応分の援助と云ふれなかつた云はれ

たを報告する。

町長 議長 東秋では一、二、三、と云ふたそうです。

石川 この話は正しく是が話がある。

井上 受益訂正の負担はどうか

議長 五ヶ年以内と出することにして異議あるか

異議なし

町長 第三小学校にすべり台の寄附をした旨、同校より申し込まれたが受益した。

第三分団手形を置く場所設置の件

町長 第三小学校設置の経緯として、七所町の寄附の申出があったので受けた。尚町が一万円位

出すことになったと申す。

異議あるか

町長 田村組との貸付金の問題は三月八日の手形が破ると解 決することになる。

資料 融資を受け返済することになるか、それについて骨折を頂いた人々。

町長 人名発表（本町議員及町長）

資料 骨折に対して感謝する。

町長 手形の入金があったら担保と解除してよいと思ふか

設問 手形（三月八日）の入金があったら...

町長 いずれにしても現金がはけはよいと思ふか

林幸 責任を負った人名の者に迷惑をかけないで、それではいけない。

町長 町が保障した方がよいので三万円に対するものは残してよい。

大井陽子

町長 大井陽子に買収したと一五万円の寄付をして、今月末に登記する予定があるが瑞穂町より

坪の付いた瑞穂の議会の意向も共同に管理するものに同意しているか、どう思うか

田村 西多摩と西多摩東部角も含むか

町長 西多摩には話はないが返事はいい。

井梅 場外から云った瑞穂に話してやるか、当然だ。

村盛 修繕を要すると思ふか

町長 町の上等相対に修理する必要がある。

村盛 人天はどうか

町長 ぞ。儘移ると思ふ

田政 燃料は

町長 薪が一番安いのだけれどもと思ふ

橋本 自動車を買うと云うけれども思ふ

町長 青梅では市内へ入る。市外へ入る。一日平均一人強で至るは補える。

田政 焼燐以外に澤め賃と云う酒等と云うけれども思ふ

森田 私が多分墓地へ行つた時五、六分十五分でもして思ふ

町長 運営に一つは思ふ

議長 各町村より委員を作つてやるように思ふ

田政 出来上る迄の委員会

船本 至極委員会か

議長 一任か

賞升 町民は非常に好感を持つてゐる。二、三年後に早急具件化して頂く。それ迄は暫くして議長指名に一つは委員と定めた

議長 どれほど思ふと決定する。何名位か

田政 議長副議長。外三名位はどうか

井坂 他町村と相談も。一つは思ふ。それで議長一任か

議長 どれほど思ふ

町長 又、福生駅東口の駅の開設式に町長と委員長。至費五、六万円町より出す。

村長 議員が四、五坪の土地の裏附と云うた。感謝状をもらつて頂く。この話がある。

高三 今、定期分、又、が持来。お返し迄。その為住民の熱意も必要。お取あそ

ず、改開設式を行い、鉄道関係者と招待。一、二名か。人員百名と云う

十二、三万か。三、四年前より。の運動費も入ると云う。二、三万円位を費消。一、二

万の。北口の各町より集めて二十五万円位になる。五、六万円位を町で補助。一、二

万。宜しく。即費用を得た。尚、村長氏より、無償で土地の権利を譲つて頂く。ので感謝

船本 四、五坪の土地は、どうなるか

高三 鉄道で、田、から借り入れることになる

井上 町の発展に貢げんすることか大きいので町長より援助出来るように頂きたい

田橋 従来の例^式は、今後の問題もあるので町長の会長には賛成出来る、名誉会長という

よーと思ふ

井上
町長の会長ではどうか

中野
病生駅改築の際はどうか

所長
所より二万円位出たと思ふ中渡駅は三万円位と思ふ。

瀬古
福生駅の場合は強制的だったのでよくわかったと思う。

西村 建物犬が鉄道側と他は地元持がそれでは祝賀会の費用が大きいから

事物は凡て同である

森 氏
極力発展の爲でもあり、小地元として、も相当骨を折つてゐるが、幾分共援助して頂か、
たい、

船水
五万両との話であるが、二十五万両も費用を費してゐるうが、町発展の爲でもあるうが、

支那——でも、と思ふ

所の榮衰の属であるので所長がやるに言う意味で五万円をさぐー百うどうか

No. 10

村盛 先程村野から議員程の説明を聞いてあるが町発展の爲に出すのもよい
と思ふが子供達の遊園地等にもゾーした理解を頂いて希望を速に賛成したい
西村 田村福一議員の云う名譽会長でもよいのではなか

費刊。牛渡駅の場合、は所々援助を以て開設。改築の際、にニ、マ、マ内を頂へたように憶えて
 なる。都市計画、画地帯でもあるが、青沼課の複線と同時に、駅の改築も、一々行われる
 ところ、と想う。

村長 五日の要^要話^話を^を出^出さ^さな^なは^は審議^{審議}され^{され}る^るを^を皆^皆の^の発展^{発展}の^のため^{ため}と^として^{して}駅^駅は^はの^のの^の発展^{発展}では^はない^いので^で金額^{金額}は^は全面的^{全面的}に^に替^替へ^へて^て出来^{出来}ない^い

船不
か、回でも牛渡の保、音園のうも補助金の要求も、ほの閑係かうこはつちがそれとはまり
はそりて考えて頂きたい、

は、植える場所が不適当であるからであつて、又の期会もあるからではないか。

三、
私の方は時期が切迫してゐる中、福生の方は未だやとりはあると思ふ

木森幸
丁全体と考慮して考えて頂き、私の感情にならぬ様願ひを

町長 自らが名を出すべき意志があるから五万田出して頂きたい

町長 今度からは新しい例を出すことになるので、議会一同賛成をうけて私は差支えない

瀬古 町長が名を出して差支えないと思ふ

各町内で色々な施設はいろいろあるが、大体は町の財政状態からして負担するのは止むを得ない、これと駅の祝賀会を混同してはよくないと思ふ

村長 現在意義は三つある。例としてみれば消防団等で意義をなすのは、四名が出てゐる、私達は決して全体を考へてないわけではない

町の予算は公平に使ふべきであらう、商店街のクリスマスの時等は、強引にものつてつたところも出てゐる

議長 落成式は町長が主体となり、町から五万田出して頂き、村尾春吉氏に感謝状を贈呈するに決まっております

貫井 村野が員の納得のえにやて頂きたい

井上 町長名では起成同盟が無くなりすまいか

貫井 その点は心配なくそれと考慮しての五万田の予算ではないか

町長 実際の処、町名が二万田、三万田の多い附が多いが、町長の名のもとに祝賀会するとその五万田

もので貰つたようになりはしないか

三 町長名が主として出ればそれはそれで結構と思ふ

田村 町長名ですと誤解と招きはいないか

三 対外的にみれば町長名を出した方が減意がみられるのではないか

田村 町長名を出しても一方が無難である

村長 私は今迄部属的なことは町を出さず、今度始めて提案したのを否決された

田村 梅樹の処置について町野が主として児童遊園地には賛成である

貫井 又それ施設の面で考慮される点があると思ふ

町長 或程度予算の使用は公平にやるべきであつたが、梅の木の内頭が出て来たのであ

るが、それそれと考えることにやつたらうか

施設の面でやつたらう

中野 それと出すと私達の方でも要請——たくさんあるからこゝでは止めたいか

議長 町長は名を出さずにかどうか

井梅 名誉会長賛成する。

村盛 言橋三氏の意見は

言三 言橋が快く受けてくれるならよいが、そうでないなら出して貰はなくとも結構です。

田村 今迄新しく駅が出来た言橋は要求しない

言三 言橋は今迄新築されても、言橋の補償は絶対に要求しないと言っている。断言する。

浅長 言橋は名誉会長とするに賛成者が多いとあるが金額のよきは

船木 五万圓位は止まると得るのではなか、也えでもそうとうの差の附と云う事であるから、

井梅 言橋全体から見ればその位出すがよいではないか、

浅長 五万で買浅長をいや否や

異議を申し立てる、決定する。

浅長 表彰状は会長と名誉会長との連名とするが、

村盛 土上禮と無償で提供するか、土地は田村氏を思ふが、

言橋 そうである田村氏とは問題なく、田村氏は鉄道と相對で貸借契約と結ばばよい。

言長 車道、溢水防止のことについて田村氏が要望があるが、これと改修するには多額の費用がかかるが、

田村氏協力はあると云うてゐる。

この改修工事は前にも陳情してあるがまだなんのこともして来てない。

言橋 登展するにつれて排水量が多くなるので、田村氏も思ひで何んとかして頂きたいと思ふ。

三割が田村氏から補助金があると思ふ。

村盛 排水が田にも浸へして、稲作に不便な悪影響がある。

田村 時間も経過したので委員会に附託した。

井梅 前に急ぎを云うたが、この際思ひ切て処置すべきである。

言長 全長二千米位長が

森田 武蔵野台地は住宅が出来て耕作地はなくなり、頼るところは田圃である。その田が悪水

に浸入されてしまふ、それは農家も大変であるが、今までは何内来水は何内と云ふふうに改修して頂きたい。

貴井 昔は水の量も少なくよく掃除して、こう云う問題は起らないが、目取所、この川の水を利用するものも少なくないで、手入が不十分になつてゐる。

そこえ又ゴミ等も拾うれそれかくすれで川が汚まり、それにより臭水が田に浸入してゐる。ので片側だけでも土砂止めをしてたゞと申す。

議長 振興委員に現状視察をして見當りと頂きたいと思ふ。

上の方だけ視察するだけでなく、下の方迄全般に亘り視察して頂きたい。

一 單 休 憩 (午後一時五分)

議長 再会と告げ、八時四十分。

町長 三十七年度歳入は概算一億五千万円であるが、歳出が一千万円であり、一億四千万円の残がある。

リ、返済額を五百万円位とすると前記一億三千万となるが、これが新現事業分となるために、

リ事業を行ふ、或は増税を行ふ、又は返済の五百万を減らすか、いずれかにする。

「決定する」下ればなる。現行銀行には三百万の借入があり、これを今年度内に返済

しなけれならぬ。各面に渡り予算方針と決定しなればなる。

瀬古 唯今の説明は解りました。他に何か方法はないか。

助役 五百万の返済をしなければ何とかなるか。

瀬古 その点はお解るが、稲佐町の特殊性に於いて補助金等の増額は出来ぬか。

町長 平衡交付金の問題は係数的に算定してしまふので、政治的に解決する。

ことはむづかしい。補助金も政府が削減し、政策をとつてゐるので仲々ある。

瀬古 先日稲佐代議士より、話でも新現する事業等は申請して貰ふことであつたので、

何とかならうか。

町長 事業に必要なら補助金は出ると思ふ。

貸付 借金は返済しなければならぬが、発展してある当町としては非常に苦しいが、

借入は出来るものなれば借入れとして、逆も町の施設の充実に計るべきと思ふが、

議事 借金は借入と又借入とあるか。

貸付 二百万円位を返して三百万円位と、非常な時の対策事業に振向けるとする。

村盛 いか。

町長 又井場は実現したか、町政に対する町長の抱負は。

町長 糞尿、道路、車堀等が重要と思ふが、車堀は、食糧増産の意味からして、政府

村盛 公共事業の支かは。